

「ランサムウェア」ウイルスが猛威をふるっています。2年ほど前、「暗号化ウイルス」でパソコンの保存ファイルがロックされ、泣き寝入りした人が少なくないようですが、今回は家庭(個人)用パソコンから企業・官庁等の電算機システムが標的にされ、さらには世界的に感染が広まっています。「悪事千里を走る」、「浜の真砂は尽きれども」、世に悪業が尽きることがないですね。防衛省からも、「不審なメール」を受信した場合はその旨通報するよう、隊友会本部にも依頼がきているとのことですよ。我々にとっても保管ファイルは大切な財産です。防止策とともに必ずバックアップを別に保管しておきましょう。 <川村記>

支部の活動概要

《4・5月の活動実績》

- 4. 8(土) 千葉県護国神社春季例大祭奉仕作業(千葉市)
- 4.19(水) 29年度千葉県隊友会通常総会(千葉市)
- 5.13(土) 29年度支部総会等行事(館空会との合同)
- 5.27(土) 安房神社旧海軍戦没者慰霊祭(有志参拝)
午後「海軍落下傘部隊を語り継ぐ会・報告会」に協力(コミセン)
- 5.27(土) 支部5月役員会(コミセン)

《6・7月の活動予定》

- 6.11(日)&7.17(日) NPO法人主催
「河川浄化運動」協力(那古船形小&市内)
- 6.23(金) 現地研修支援(金沢シティG、三芳地区)
- 7.19(水) 千葉県隊友会前期理事・支部長会議(千葉市)
- 7.29(土) 支部7月役員会(コミセン)

支部総会行事の点描

5.13(土)芳喜楼

恒例の館空会との合同行事が、市内芳喜楼会場で盛会裡に行われました。今回は、両会の総会に引き続いて講演会、懇親会まで通して同じ会場で円卓を囲んで行う初めての試みでしたが、企画幹事の周到な計画・準備と軽妙な運営・進行によって、参加者全員が満足・納得されたことと思料します。

講演会、懇親会には、第21航空群司令をはじめセサ・各隊司令、各隊代表 計20名の現役の皆さんが加わり行事を盛り上げるとともに、懇親の場でのOBとの交流や各隊隊員によるプレゼン・自己アピールを通じて、部隊・隊員の皆さんの実状・心情の一端に触れることができたことは、OBにとって意義ある催しであったと思います。

支部総会 議案:28事業、28会計・監査報告、29事業計画

開会に先立ち、昨年亡くなられた3名の会員のご冥福を祈り、全員による黙祷が捧げられました。

今年の総会は、千葉県隊友会から小淵新会長(陸)、三浦理事役、日向理事役(支部顧問)臨席のもと、支部正会員28名が出席して行われ、議案は原案どうり承認されました。

前年度の活動の反省等を踏まえ、今年度以降の事業活動で特に重視する事項を右コラムに掲げますが、今後、支部機関紙を通じて逐一、活動状況等を紹介していく所存です。

支部活動の推進にとって、役員の工夫努力とともに会員諸兄の適切なアドバイスが不可欠であることは言うまでもありません。

講演会 演題:「参議院議員・佐藤正久の現場レポート」

講師の佐藤正久氏は、陸上自衛隊を勇退、平成19年に参議院議員全国比例区で初当選以来、今年で10年目を迎えておりますが、この間、防衛大臣政務官、外交防衛委員長を経て、現在、参議院自民党筆頭副幹事長ポストで難問処理に手腕を揮っております。一夜漬け・即席の政治家とはワケが違います。

今回の講話も、防衛の現場に加えて国会・政策の現場経験に基づく極めて聴き応えのある内容でした。3任期目を目指してさらなるご活躍を祈念いたします。

<支部長>

事業活動の重視事項(骨子)

☆支部運営基盤の整備

隊友会活動に対する会員の関心・意識を高めるための取り組み(方策の追求)

☆(市民に対する)防衛意識の普及

「公正な歴史認識」を基調とする情宣活動等の推進

☆自衛隊に対する協力

「部隊側のニーズの把握」が基本、ニーズに応える施策・活動の模索

告知・連絡コーナー

支部事務局

☆「千葉県隊友会防災ボランティアチーム要員」の(再)募集!

平成23年の東日本大震災を契機に立ち上げた千葉県隊友会防災ボランティア・チームは、東日本(旭市含む)では8グループ延べ112名、一昨年の常総市豪雨災害では延べ75名のメンバーが被災地の復興支援作業等に協力し、関係方面から”統制のとれた組織的な活動ぶり”を高く評価されたところです。現在、56名(館山支部1名)の会員がボランティア要員として登録されておりますが、高齢化に伴う補充要員と、さらには千葉県防災(県庁)から災害時の協力についての打診をも踏まえた場合、今後、常統・安定的な要員確保が必須要件と言えましょう。今回、次のような条件でボランティア要員を再募集しますので、会員諸兄の積極的な応募を期待するものです。6月20日(火)までに支部事務局(Tel.22-0230、川村)へ連絡ください。

<応募条件>年齢不問、年齢相応の健康体で、”1週間程度の中作業に耐える体力”に自信のある会員

☆☆「館山支部だより」への投稿のお願い!

支部機関紙「館山支部だより」は、支部(執行部?)と会員を結ぶコミュニケーション、意思疎通の場として隔月発行を続け通巻80号を数えるに至りました。一方的・無味乾燥な情報提供にならぬよう、乏しい知恵をふり絞り硬化した脳細胞を叱咤して、一人でも多くの会員諸兄に読まれるような内容を目指して鋭意努力しておりますが、そのためにも会員諸兄の声・ニーズ等は欠かすことができないのです。支部活動に対する提案、アドバイス、苦情や随想、体験談等々、形式にこだわることなく遠慮せず自由(字数、期限不問)に投稿をお願い致します。

☆☆☆ 隊友5月号「隊友会事業の紹介(カラー刷り総集・保存版)」

隊友会が掲げる事業活動の四本柱の一つ「(あまり知られていない)会員の福利・厚生事業」を理解し、また活動に生かす上でも有益な情報ではないでしょうか。

「『鬼の館砲』館山海軍砲術学校」・・・訓練の断片から

陸上砲術・陸戦要員養成機関として絶大な期待を寄せられた「館砲校」

日米開戦の直前、横須賀の砲術学校から対空、陸戦部門が分けられ館山砲術学校(「館砲校」)が開設された。

開戦による南方への戦線の拡大は、必然的に大幅な基地防空、島嶼防備要員を必要とし、館砲校の開校はこれらの急速・大幅な所要の増大に応えるためのものであった。またこれらの指揮官要員養成のため、兵科(対空、陸戦)部門に多数の予備学生が登用され、それなりに館砲校の教育訓練は熾烈を極め、彼らの戦後の回想記「懐旧平砂浦」に登場する「鬼の館砲(校)」に象徴されるように想像を絶するような訓練・生活であったのであろう。

現在、館砲校の跡地に残されているのは、落下傘訓練用プールと厨房ボイラー棟の赤煉瓦ぐらいで、布良海岸に至る館砲校の平砂浦演習場も一面、水田・レタス畑に変わり、血と汗にまみれた訓練の面影を見出すことはできない。



<< 砲弾を運ぶ予備学生の隊列(西高角砲砲台)>>

(海軍特別報道班員真継不二夫写真集より)

日増しに強まった実戦的な教育訓練

戦局の推移により、兵器装備の開発要求とともに教育訓練の改善要求が強まり、昭和18年に対空科は高角砲、機銃、測的(レーダー)班に、陸戦科は砲隊、戦車班に区分され、新たに化兵科(化学兵器、化兵戦対応)が設けられるなど、教育訓練も急速に分業・専業化、実戦化の度合いを強めていった。

特殊任務を帯びた山岡部隊が館砲校で編成され、日中は秘かに奥兵舎(最奥部の建物)で起居し、夜間人知れず山中訓練に出かける忍者もどきの部隊の存在が囁かれ、伝説的に広まったのもこの時期のことである。

S19. 10 には訓練砲台が実戦砲台に指定されて実弾が配備され、訓練の激しさとともに横鎮(現在の横監に相当)から発令される実弾射撃の海面告示が次第に頻度を増していった。S20年に入るとB-29の本土来襲が本格化し、訓練がそのまま対空戦闘配置に移行するケースも珍しくなかったと言われる。

戦没者慰霊顕彰への念(おも)いと現実

館砲校で教育訓練を受け比島、サイパンなどの激戦地に赴任して散華された人々の数は1万数千を下らないと言われる。平成3年に有志(「館砲会」)の手で学校跡地の一隅(私有地)に「平和祈念塔」が建てられ、毎年、21空群の絶大な後方支援のもと、市長や多くの名士らが参列して慰霊祭が続けられてきた。式典後の小宴の会場設営やご婦人たちが旬のソラマメや手料理を持ち寄るなど、縁の下で慰霊祭を支える地元佐野の人々の献身的な協力に、懐旧を超えた絆・真心を見るようで有難かった。ところが、第20回慰霊祭(平成22年)で地元の代表から「今回を区切りとしてこれで終わりにしましょうよ!」との切なる声が上がられた。「なぜ我々がここまで・・・」といった心情、胸中の吐露なのであろうか。以降、慰霊祭に地元の人たちの姿が見られなくなった。

時代が移り変わり世代交代が進む中、当事者の赤誠・念(おも)いだけで慰霊顕彰(行事催行)を続けることは至難に思う。一昨年、愛知県豊田市の名古屋空跡地(市の管理用地)で続けられてきた「神風特攻草薙隊(名古屋空で編成・出撃した艦爆隊)」の慰霊祭が、主催団体会員の高齢化により第40回を最後に打ち切られることになった。厳粛な現実であり、諸般の事情を熟考した当事者の判断・選択なのであろうか。

<自称地域史探索マニア その14>

トピックス 第28回危険業務従事者叙勲

佐野三也会員(海)、野田末盛会員(海) 瑞宝双光章(防衛功労)受章

晴れのご受章を心から祝福申し上げます。

総会議決権の行使について

隊友5月号「議決権行使要領」ご参照

議決権の代理行使を県会長委任する場合は、6月8日(木)までにハガキを投函して下さい。